進路だより

平成２６年６月２５日発行　下関西高校進路指導部

第３号　育まむ不屈の闘志！！

一流の受験生になれ

早いもので６月も下旬になります。１年生にとっては、あっという間に日々が過ぎ去っていったのではないでしょうか？高校総体県予選や旭陵祭も終わり、期末試験が始まろうとしています。３年生にとって最後の部活動の大会や行事が終わり、感慨もひとしおだと思います。辛いことや苦しいこと、そして悲しいこと、人には言えないようないろいろな苦労があったと思います。しかし、それらを乗り越え、高校生活最後の大会で自分の持っているものを全て出し尽くし、今は、晴れやかな気持ちになっているのではないのでしょうか。これからはスイッチを受験に切り替え、志望校合格に向け全力を尽くしてもらいたいと考えています。

３年生との面談

４月から始めた３年生全員との面談もあと少しで終わります。限られた時間で行っているので十分だとは言えませんが、進路の悩みや勉強の仕方であったり、さらには人生相談もあったりで、３年生の考えていることや気持ち、そして置かれている状況が少しわかった気がします。どれだけお役に立てたかわかりませんが今後も継続してひとりひとりの進路実現に向け、具体的なアドバイスをしていきたいと考えています。十分に話が出来なかった人は、いつでも訪ねてきてください。また、１，２年生で進路や、勉強法などで悩みを抱えている人も遠慮なく訪ねてきてください。昨年も何人か訪ねてきましたよ。

進路講演会

６月 18 日(水)6，７限に進路講演会が行われました。今年は、代々木ゼミナールの数学科講師の湯浅弘一さんをお招きし、前半は、数学課題プリントの講評　後半は『希望進路へのレール』と題し、ご講演いただきました。

数学課題プリントの講評では本校生徒の答案について事前に志望校別に採点・分析をしてもらい、講評していただきました。その中で、『パターン解法とは、原理原則がわかって使うものであり、単に暗記していても数学解答力の増強には繋がらない。』『理系の解答が固定概念化されている。自由に解答して欲しい。』など、的確なアドバイスをいただきました。

講演の中では、『なぜ偏差値の高い大学を目指すのか？大学の現状について』『受験生を演じる』『勉強もスポーツもトレーニング』など先生が過去に教えた生徒の事例を元に志望校に合格するためのアドバイスをいただきました。

お話しの最後に以下のお言葉をいただきました。

『目標を現実にすることを努力という。努力を休むことはある。しかし、常に目標と向き合っていれば、必ず達成できる。すべては成功体験。失敗を恐れてはいけない。なぜなら失敗と成功を繰り返すことをトレーニングというのだから。成功も失敗もレールを敷いているのは自分である。禁他力本願！』

失敗を恐れずにチャレンジしていきましょう。

７･８月の主な行事

進路に関する主な行事を紹介します。

１年生

７／４(金)　進研総合学力記述模試
７／２２～８／１　　夏季休業前期課外
８／１８～８／２２　夏季休業後期課外

２年生

７／４(金)　進研総合学力記述模試
７／２２～８／１　　夏季休業前期課外
８／２～８／４　　九大オープンキャンパス
８／４～８／６　　東京大学見学会
８／１８(月)　　大学セミナー
８／１８～８／２２　夏季休業後期課外

３年生

７／３(木)４(金)　　進研総合学力記述模試
７／２２～８／１　　夏季休業前期課外
７月中　　学研小論文模試
８／１６(土)１７(日)　第１回駿台東大京大模試
８／１６(土)　　第２回全統マーク模試
８／１８～８／２６　夏季休業後期課外

その他　各大学のプレテストが予備校等で実施されます。募集は、学校で行います。

７ 月下旬に大学の先生による大学説明会を本校で行う予定です。実施予定大学は以下の通りです。

山口大学　医学部　医学科
山口大学　医学部　保健学科　看護学専攻

なお、希望者の数によっては、実施されない場合もあります。

合格体験記

旭陵祭のとき、卒業生が学校に来ていました。卒業してまだ 2 ヶ月余りですがずいぶん経ったような気がします。みんな少し大人っぽくなっていました。

先月、進学のしおりが配られました。その中に卒業生の合格体験記を載せています。みなさんにとって参考になることもたくさん書かれてあると思います。是非読んでください。今回はその中で印象に残っているものを紹介します。

九州大学・理学部　安 田 裕 貴

自分はもともと九州大学に合格するだけの力はなく、模試の判定も D,E 判定が当たり前、B 判定なんて高校 3 年間を通して 1 回しか出てないような生徒でした。しかしそんな僕が第一志望に合格することができた大きな要因は、振り返ってみると 2 つあると思います。

まず、先生の存在です。僕は 3 年生になって先生に質問しに行く回数が格段に多くなりました。最初は質問することが恥ずかしく、後で友達に聞けばいいや、という感じで結局わからないままになることが多かったです。でも、いざ先生のもとへ質問に行くと、質問したことだけでなく、他の関連したことなども教えてもらえ、それが知識となり、自分の勉強に役に立ちました。後輩の皆さんにはぜひ勇気をもって質問しに行ってほしいです。また、お世話になったということでは、数学・英語の添削指導です。数学に関しては、馬鹿みたいに毎日先生に提出しに行って「お前また来たんか！」と言われるくらいに行ったことを覚えています。英語に関しては、1，2 学期はもちろん、センター試験後から個別試験までの毎日、自分のつたない自由英作文や和文英訳を添削してもらいました。やはり、このような馬鹿みたいな継続があったからこそ、第一志望に合格できたと思っています。また、センター試験後に落ち込んでいた僕と一緒に進路を考えてくださった先生方、「せっかくの受験なんだから楽しまないと」と助言をくださった先生など、自分の受験にとって西高の先生方は大きな支えとなりました。

そして、二つ目は何より友達の存在でした。実を言うと、僕のセンター試験の点数はとても悪く、志望校を下げようと考えていました。しかし、そんな時「一緒に頑張ろう、一生懸命やったら行けるよ」と声をかけてくれた友達のおかげで、頑張って勉強を続けることができました。普段は冗談を言い合ってふざけ合う面白い友達だけど、いざ勉強となると一緒に真面目に勉強してくれる友達に出会えて自分は本当に恵まれていたなと改めて思います。先生はよく「受験は団体戦だ！」と言います。このフレーズを初めて聞いた時は、そんなの個人戦に決まってるじゃんと思っていました。でも、2 次試験が近づくにつれて、みんなで「合格しような」と言い合って勉強していたことを考えると、団体戦だったと思います。これらのことを考えると、僕にとっての友達の存在は大きかったなと思います。

最後に僕は好きなマンガのセリフの中で「無理して頑張ってね」というのがあります。無理せずに頑張ってね、と言われるよりも百倍頑張れる素敵な言葉だと思います。皆さんも受験に限らず、部活、行事など無理して頑張ってください。それから卓球部の仲間、後輩、今までありがとう。頑張ってね。